

藤 沢

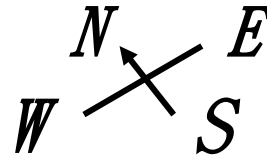
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2018年11月1日

第294号



主
な
記
事

- ・藤沢市のエネルギー政策 現状と課題
- ・県農業技術センター視察
- ・海を漂うプラスチックごみ
- ・遺伝子組み換えルーレット

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

FAX 0466-87-4922

年に1回、引き締めのかっけに

「今年の夏は暑いね。死ぬほどに暑くて生活に支障が出るよ」

去年もだが、今年は輪をかけて聞いた言葉。しかしこの言葉の裏には、自然が勝手に暑くしているだけと他人事のような感情がある。もしくはどこか遠くで工場や発電所などの大きな施設が熱を放出しているから、高速道路をトラックがたくさん走っているから、など自分のせいではないのに、暑くなって困っている。それを感じる。

だからこのような話は嫌になる。ましてその家で屋敷林を切り倒していたりした上でそんな事を言われると、何をかいわんやである。かといってそこでパリ協定だの、因果関係だのを熱く語っても、温室効果ガスを放出する人為的な気候変動を少しでも和らげ、暑さに対応できる術を身に付けてもらえる気配はない。だってその人にとっては「今年の巨人は弱いね」とほぼ同義語であるからだ。

どうにかして、自身の生活が地球の気候変動に影響を与え、人類の暮らしを生きにくくしていると実感してもらい、つまり指先ひとつ、スイッチの切り替えだけでも地球が温暖化したり、緩和されたりを知ってもらいたい。知らなければ行動も出来ない、しかし行動するにはお金もかかる、手間もかかるとも大げさに思ってもらいたくもない。コストをかけずにできる事もあるとも多くの人に知ってもらいたい。それぞれの人にちょうど良い行動があることを。

その場として11月24日土曜日、藤沢市民会館で開催されるふじさわ環境フェアが最適である。との思いで準備をしているが、すでに人類が引き起こした気候変動は加速度的に進み、止める止めないの話ではない。なんとか地球の温度上昇を和らげ、日々起きる悪影響に対して対応しなければならぬ。そのためにこれを読む皆様の引き締めのかっけになってもらえれば、さらに自分自身を引き締められる。

「今年は雪の降り方がおかしいね」と会津や北信だけでなく、地元でも聞くだらうから。

環境経済 NPO パシフィックエコサービス代表／
ふじさわ環境フェア実行委員長 青木正美



湘南台ファンタジア 藤沢市民まつり 10/28 パレード
慶応大学のチャリーディングチーム
たくさんのチームが参加しました

藤沢市のエネルギーの地産地消 現状と課題について

10月12日(金)に藤沢市民会館において環境総務課長の山口剛氏を講師に「藤沢市のエネルギーの地産地消 現状と課題」について学習会が藤沢エコネット主催で行われた。

「エネルギー地産地消推進計画」(2015.2 策定)は、温室効果ガスによる地球温暖化防止と災害時におけるエネルギー供給体制の脆弱性の課題を解決するために、分散型のエネルギー利用、即ち、「エネルギーの地産地消」が必要となった。これは、温室効果ガスを2022年度までに、1990年比で40%削減という藤沢市地球温暖化対策実行計画(2011.3 策定)の一翼を担っている。現状では、27.7%削減され(2015年度)、残り13%の削減が必要である。

藤沢市の温暖化対策事業としては6項目の取り組みがある。

- ① 住宅用太陽光発電システム設置費補助
- ② エネファーム設置費補助
- ③ 電気自動車導入への補助
- ④ 公共施設への太陽光発電システムの導入
- ⑤ 公用車に電気自動車の導入

⑥ ごみ焼却発電による再生可能エネルギーの促進
現在力を入れているのは、北部環境事業所のごみ焼却発電による余剰電力を新電力会社を介して78の公共施設に供給する事業でCO2削減約6,000tである。

参加者との質疑応答では、

- ・ 知らなかったことが分かって良かった。
- ・ もっと知る機会があって良いのではないかな。
- ・ 事業者との取り組みが知りたい。
- ・ 公立学校などの太陽光発電と蓄電池についてどの程度なのか。
- ・ 事業の熱心さは、どれだけお金をかけているかで分かる。
- ・ エネルギーの地産地消推進計画など温暖化対策について藤沢市の予算に占める割合はどのくらいなのか、事業について他市との比較だけでなく、過去との比較なども知りたい。
- ・ 神奈川県との連携も重要だがどうなっているのか。県は省エネを柱の一つにしているが、藤沢市では省

エネの扱いが少ないのではないかな。

- ・ 燃料電池の取り組みとして下水処理によるメタンガスの利用を検討してはどうか。
- ・ 推進計画に市民主体型の事業が入っているが、茅ヶ崎市では市民共同発電所ができていますが、藤沢市ではよく見えない。
- ・ 市のスタンスはどうなっているのか。ごみ発電事業でタクマエナジーと湘南電力などとの関係がわかりにくい。
- ・ 太陽光発電について補助を残していることは評価できるがインセンティブが弱い。
- ・ 公立学校の太陽光発電の容量が小さい。もっとポテンシャルはあり、災害時の対応が必要。民間に開放しては？
- ・ 電気自動車では、ごみ収集車の導入、水素ステーションの検討は
など様々な意見が出された。

最後に、参加者は22名で厚生環境常任委員長・副委員長を始め4名の市会議員の参加があり、藤沢市のエネルギーの地産地消の現状と課題を行政と議会と市民で共有できたことは画期的であり、今後も学習会を続けていくことを確認した。(宮地俊作)

農業技術センター視察

10月5日、神奈川県農業技術センターへ、視察に行きました。平塚にある技術センターは県内農家の経営を支え、安全安心な農産物を県民に届けるために研究・開発を行っています。

まずは技術センターで開発した品種の説明や、画期的な果樹の仕立て方、まだ実用化されていない栽培方法などのお話を伺いました。参加者一同、驚いたり、感激したりと賑やかに質問をはさみながらのお話でした。

神奈川県農業		主要農産物における 神奈川の全国生産順位	
耕地面積	19,400 ha	キャベツ	5
県土面積	241,592 ha	ダイコン	6
農家戸数	24,552 戸	コマツナ	7
県人口	9,141,390 人	カボチャ	8
農業産出額	808 億円(36位)	ホウレンソウ	8
うち野菜	442 億円 (54.7%)	みかん	9
		パンプキン	2
神奈川県、農林水産省H27統計値及び 2015センサス		農林水産省H27統計値	

農場見学は
冷たい雨が
降ってしま
い、全体を
見ることが
出来ません

神奈川県農業の現状

でした。それでも見事に育ったキャベツの原種畑や、整然と仕立てられた梨畑、病害虫予防のために赤いネットが張られたハウスなどなど興味深く見学することが出来ました。



2018年4月廃止された主要農作物種子法(コメ、大豆、麦など、野菜を除く種子の安定的生産と普及を促進するための法律)について質問しましたが、回答できないとの事でした。しかし『コメ、麦などの研究もしている。.....依頼されて研究している』との事でしたので、種子法が無くなり、国からの依頼が無くなれば、研究しない事になるのではと危惧を覚えました。

農家が減少するなか、農家と消費者を守る大切な機関です。また視察の機会を持ちたいです。

(新婦人藤沢支部 中田陽子)

武田問題総会・学習会 ～遺伝子組み換えルーレット上映～

10月24日、武田問題対策連絡会の総会・学習会が開かれました。少人数でしたが、市議員や県議員も参加し、藤沢・鎌倉両市の安全安心、住みやすい街づくりに大きく関係している事を再認識しました。

「武田薬品湘南研究所」は「湘南ヘルスイノベーションパーク(略称・湘南アイパーク)」と変更され、現在25社、約1500人が同居、2023年には200社を目指す大集合体になる予定で、純粋に研究部門のみの会社ではありません。

連絡会では、今後創薬研究の安全・安心をどう実現していくのか、質問・要望書を提出し、話し合いましたが、『HPに公表されている以外、何も答えられない、公表できない』との、周辺住民への配慮に欠けた回答でした。

総会後、ドキュメント「遺伝子組み換えルーレット」が上映されました。

現在、遺伝子組み換え生物(GMO)と呼ばれているものには、除草剤耐性作物と殺虫剤生成作物の2つがあり、1990年代後半に米国で遺伝子組み換え大豆やトモロコシの生産が拡大してきました。それに伴いアレルギー、糖尿病、自閉症、不妊、出生障害をはじめとする慢性疾患が急増しました。

遺伝子組み換えの飼料を食べている家畜やペットに出生異常や不妊、多くの健康問題が報告されていて、飼料を非GMOに変えると劇的に回復した畜産農家。米国政府が無料で配布している粉ミルクを飲んでいる自閉症の子が食べ物をオーガニックに変えたら、症状が回復したと語る母親。

モンサント社がインドに広げた遺伝子組み換え綿



(Bt 綿)は農民や家畜に深刻な健康障害を引き起こし、価格が高い種子と農薬で、借金を苦に自殺する農民が多くなった報告など様々なインタビューの映画でした。

表示義務のない遺伝子組み換え食品には、サラダ油、マーガリン、マヨネーズなど油が入っているもの、甘味料類、調味料類など多数あります。

国産の食べ物で、飼料、原料がはっきりしている食べ物は安心です。外食は何が使われているか不明です。外食に頼るのは避けましょう。(青柳節子)



反モンサント大行進(日比谷) 2016. 10. 16

海を漂うプラスチックごみ

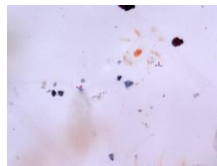


写真は瀬戸内海の浜ならどこにでも見られるプラスチック管。牡蠣の養殖いかに使われている「豆管」と呼ばれているものです。

1台の養殖用いかにには約24,000本のパイプがぶら下がっていて広島県下だけでその合計を算出すると、およそ3億3千万本使われています。その3割ほどが毎年流出していると言われています。

祝島の浜にも山ほど打ちあがっています。

「週刊金曜日」2月16日号には山秋さんの祝島レポートが掲載されています。



上の写真は4月西表島の浜で撮影されたもの。

Iriomote's trash on the beach...sad reality ☹

沖縄では西に行くほど中国語で書かれた漁具や生活ゴミなどが多くなります。しかし、目に見えるゴミはもちろん、海に漂う微小なゴミ、マイクロプラスチックなどは更に激増していると言われています。

3月に東京湾でプランクトンネットで採取した時の写真（上の写真右側）あきらかに生物の数より多いのが気になります。どうしたらよいか？

様々な情報に耳を傾け、関心を持っていただければと思います。（武本匡弘 ヨットVelbet M上で）



放射能測定値（市民計測）

（HORIBA Radi）単位（ $\mu\text{Sv/h}$ ）地上50cm

10/9 湘南台自動車学校駐車場	0.049
10/30 俣野境川沿い	0.046
10/30 境川遊水池公園	0.031

ECONET INFORMATION

▲福島原発事故の食と農への影響

講師 小林信一教授

日時 11月4日（日）13:30～15:00

場所 日本大学 博物館第1会議室

主催 日大生物資源科学部動物資源科学科

小林信一研究室

福島の子どもたちとともに・湘南の会

問合せ／申込 090-2527-3200

▲くらしフェスタ藤沢

～元気な子ども やさしい暮らし～

11/10（土）10時～15時

湘南台市民センター地下2階

展示 ミニ学習会 クイズラリー（プレゼントあり）

エコカフェ パフォーマンス 福島っ子保養報告ほか

主催／みんなの消費生活展実行委員会・藤沢市



▲藤沢環境フェア2018

11月24日（土）9:50～15:30

藤沢市民会館 展示ホール 前庭ほか

展示 ワークショップ クイズラリー 飲食ブース

主催／藤沢市・環境フェア実行委員会

▲藤沢エコネットから

◆環境フェア 地球温暖化に関するDVD上映

11/24（土）10:30～12:00 藤沢市民会館教養室
（チラシをご覧ください）

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行（9900）店番（029）

当座預金 0046501 ㊿ ㊿ネット

◆事務局会議 11月6日（土）14:00～

市民活動プラザむつあい

《編集後記》文化の秋、紅葉の秋到来。野山を歩き、文化に触れ、人と出会い、生命の息吹を取り戻したい秋。鎌倉の紅葉は残念ながら台風の塩害で無残に枯れていましたが、鎌倉文学館のバラは満開、お勧めです。最近、夕焼けの美しさは素晴らしい。特に海岸から見る夕焼けは。環境フェア・消費生活展で、あなたとお会いするのを楽しみにして！（A）